

授業 科目名	運動生理学総論 Basic Exercise Physiology	履修年次	1 単位:15 時間	担当教員名: 島田美恵子 [健康運動指導士] (研究室: A 棟 412)
		選択: 看・歯・理・作 2 年 看編 3・4 年 栄 4 年	コード: BHA101	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕 II. コミュニケーション能力 IV 健康づくりの実践 VII 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 コメディカルにとって生活習慣病の予防・改善、フレイル化・要介護化の抑制に向けて知っておくべき基礎知識の習得と実践力の向上を目指す。				
〔授業の概要〕 運動時における呼吸循環系機能の動態を習得する。特に心拍数、血圧、乳酸、換気量、酸素摂取量などの変化について学ぶ。また、運動を支える筋肉や骨、さらに過剰に蓄積することで生活習慣病を誘発しうる体脂肪について学び、脂肪・糖を燃焼させるための運動プログラムの作成方法について学ぶ。 毎回、授業の要点を小テスト形式で講義時間内に提出し、理解を深める。				
キーワード: 生理的指標 呼吸循環機能 体組成 運動プログラム				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	4/10	ガイダンス・安静時と運動時のエネルギー代謝	エネルギー代謝の基礎、1日のエネルギー消費量の構成および測定方法について理解する	
第2回	4/17	身体組成	身体組成の構成や測定の意義と測定方法の特徴、運動が及ぼす影響を理解する	
第3回	4/24	呼吸循環系機能	呼吸・循環器系器官・組織の基本的なしくみと最大酸素摂取量について理解する	
第4回	5/1	骨格筋の機能	骨格筋と筋収縮の基本的な仕組みとトレーニング方法について学ぶ	
第5回	5/8	中間代謝・内分泌	糖代謝・脂質代謝・アミノ酸代謝における運動時に働くホルモンの働きと調節を理解する	
第6回	5/15	運動処方	フレイル、ロコモティブシンドローム、サルコペニアの概念と身体活動・運動の効果を学ぶ	
第7回	5/22	環境と運動・栄養	ストレス時の生理的応答、環境(温度・気圧・無重力)による生理的応答、不活動の影響について学ぶ	
第8回	5/29	総括	(動画視聴・Forms 提出予定) まとめ レポート課題提示	
履修条件	なし			
予習・復習	予習として関連の図書を熟読のこと。復習として、Teams を活用した発展課題に取り組む。			
テキスト	なし			
参考書・参考資料等	栄養・スポーツ系の運動生理学 南江堂 監修: 樋口満			
学生に対する評価	小テスト (60%)、レポート (30%)、学習態度 (10%)			

授業 科目名	生化学総論 (Introduction of Biochemistry)	必修：看2年	1 単位 15 時間	担当教員名： 細山田康恵 (研究室：教育棟 A208)
		選択：歯・理・作1年 自由：栄1年	コード：BHA102 栄：BHA001	
〔DP〕 III 実践に必要な知識 VII 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 本授業では、医療従事者に必要な生命現象の仕組みを分子レベルで理解できるようにすることを目標に、以下のテーマで講義を進めていく。 ① 糖質・脂質・タンパク質などの生体成分の化学的な考え方や代謝を学び、説明できる。 ② 各種栄養素の相互作用、遺伝やホルモンについて知り、説明できる。				
〔授業の概要〕 生物の基本単位である細胞の構造と働き、主要な生体成分である糖質・脂質・タンパク質および核酸について、その化学と働きを理解することを目的とする。さらに、代謝に関与する酵素の働き、ビタミン・無機質の役割、遺伝情報、ホルモンなどについても理解させる。生体成分の構造、機能、代謝などを通して生命現象の仕組みを分子レベルで理解できるような内容の授業を行い、それによって生体成分を化学的に学習する。				
キーワード：栄養素、化学的性質、代謝、遺伝情報、ホルモン				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	4/11	ガイダンス	受講に関する注意事項、細胞機能などの概要	
第2回	4/18	糖質	糖質の分類と性質、解糖系エネルギー、糖質の代謝	
第3回	4/25	脂質	脂質の分類と性質、体内での脂質の運搬、脂質の代謝	
第4回	5/ 2	タンパク質、酵素	タンパク質の分類と性質、タンパク質の代謝 酵素の一般的性質	
第5回	5/ 9	核酸、遺伝情報	核酸の種類と構造、核酸の代謝、遺伝情報の流れ	
第6回	5/16	ビタミン、無機質	脂溶性・水溶性ビタミン、主要無機質の種類と働き	
第7回	5/23	ホルモンと生理活性物質	ホルモンの種類と作用機序、サイトカイン	
第8回	5/30 前半 45分	まとめ	授業全体を通したまとめ	
履修条件	特になし			
予習・復習	予習としてテキストを熟読のこと。復習には配布資料の見直しを推奨。			
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [2] 生化学 三輪一智、中恵一 著、医学書院			
参考書・参考資料等	「ヒトの基礎生化学」川上浩、太田正人 編、アイ・ケイコーポレーション			
学生に対する評価	定期試験 80%、日ごろの学習態度 20%により、総合的に評価する。			

授業 科目名	栄養学Ⅰ（基礎） （NutritionⅠ）	履修年次： 必修：看・歯・理・作1年 自由：栄2年	単位数：1単位15時間 コード：BHA103、 栄BHA002	担当教員名： 金澤匠 （研究室：A206）
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 本講義の到達目標は次の通りである。①栄養素の消化・吸収のシステムについて説明できる。②摂取した栄養素の体内での役割を説明できる。				
〔授業の概要〕 健康で生きていくためには食物中の栄養素と体との関係を理解することが必要である。この授業では栄養学の基礎知識を習得し、説明できるようになることを目的とし、食べ物の役割、消化・吸収機構、五大栄養素（糖質、脂質、たんぱく質、ビタミン、ミネラル）の構造や体内での役割（代謝の概要）など栄養学の基礎となる部分について解説する。				
キーワード：栄養素、消化と吸収、代謝				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	
第1回	10/3	栄養と食物	栄養学の概要、食品の機能と分類	
第2回	10/10	消化と吸収	消化・吸収に関わる組織とその仕組み、消化吸収率	
第3回	10/17	糖質	糖質の分類と構造、体内での役割	
第4回	10/24	脂質	脂質の分類と構造、体内での役割、体内輸送	
第5回	10/31	たんぱく質・アミノ酸	たんぱく質・アミノ酸の構造と役割、必須アミノ酸	
第6回	11/7	ミネラル	ミネラルの分類と体内での役割	
第7回	11/14	ビタミン①	脂溶性ビタミンの体内での役割と欠乏症	
第8回	11/21	ビタミン②	水溶性ビタミンの体内での役割と欠乏症	
履修条件	特になし。			
予習・復習	予習ではテキスト等を熟読し、復習では授業のプリント類の見直しを行う。			
テキスト	「健康と医療福祉のための栄養学 第2版」渡邊早苗 他編集 医歯薬出版			
参考書・参考資料等	特に指定はしない。			
学生に対する評価	レポート（70%）、課題（20%）、授業態度（10%）により総合的に評価する。			

授業 科目名	栄養学Ⅱ（応用） （NutritionⅡ）	履修年次：	単位数：	担当教員名： 金澤匠 （研究室：A206）
		必修：歯1年 選択：看・理・作1年、看編3年 自由：栄2年	1単位15時間 コード：BHA104、 栄BHA003	
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 本講義の到達目標は次の通りである。①栄養素の代謝メカニズムについて説明できる。②栄養素の望ましい摂取量について説明できる。③食事摂取のタイミングが代謝に及ぼす影響について説明できる。				
〔授業の概要〕 この授業では栄養素の役割を理解する上で重要である代謝メカニズムについて理解し、説明できるようになることを目的とする。そのために栄養学Ⅱでは、栄養学Ⅰで学んだ栄養素の代謝の詳細なメカニズムや栄養素相互の関係性などについて解説する。また、それぞれの栄養素の望ましい摂取量やエネルギー産生栄養素（糖質、脂質、たんぱく質）が関わるエネルギー代謝、食事摂取のタイミングが代謝に及ぼす影響などについても解説する。				
キーワード：栄養素、代謝、食事摂取基準、時間栄養学				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	11/21	講義の概要	講義の概要	
第2回	11/28	糖質	糖質代謝（血糖値の調節）、他の栄養素との関係、食物繊維	
第3回	12/5	脂質	脂肪酸・コレステロール代謝、ケトン体、機能性脂質	
第4回	12/12	たんぱく質・アミノ酸	たんぱく質・アミノ酸代謝、たんぱく質の栄養評価	
第5回	12/19	水・電解質、その他の成分	水の出納、アルコール代謝、脱水と浮腫、生体や食品中の生理活性物質	
第6回	1/9	エネルギー代謝	消費エネルギーの種類と測定法、臓器別エネルギー代謝	
第7回	1/23	栄養素の望ましい摂取量	食事摂取基準の概要、食事バランスガイド	
第8回	1/30	時間栄養学、栄養と遺伝子	時計遺伝子、栄養素による遺伝子制御、遺伝子と生活習慣病	
履修条件	特になし。			
予習・復習	予習ではテキスト等を熟読し、復習では授業のプリント類の見直しを行う。			
テキスト	「健康と医療福祉のための栄養学 第2版」渡邊早苗 他編集 医歯薬出版			
参考書・参考資料等	特に指定はしない。			
学生に対する評価	定期試験（70%）、課題（20%）、授業態度（10%）により総合的に評価する。			

授業 科目名	心の健康 Mental Health	履修年次: 選択：栄・歯・理・作 自由：看	単位数: 1単位 15時間 コード：BHA105 看：BHA004	担当教員名： 小宮浩美 [看護師] (研究室 教育棟 B315)
		実務経験のある教員による授業科目		
		〔DP〕 I. 倫理観とプロフェッショナリズム II. コミュニケーション能力 III. 実践に必要な知識		
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
1) ころの健康の回復や保持増進のために必要な知識について説明できる。 2) 保健医療職者として精神症状をもつ人とコミュニケーションする際に必要な技術と態度が習得できる。				
〔授業の概要〕				
本授業は保健医療専門職者として、ころの健康ところの健康課題をもつ人に対する理解を深め、ころの健康の回復と保持増進に必要な基礎知識を理解することを目的とする。ころの健康、ライフサイクルにおけるころの健康問題、医療現場におけるコミュニケーション、家庭・学校・職場や地域など環境におけるころの健康問題について、講義形式により教授する。また、一部に演習形式を取り入れ、精神症状をもつ人とのコミュニケーション技術の基礎について学修することも目的とする。				
キーワード：精神的健康、精神症状、コミュニケーション、ストレス、ライフサイクル				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	10/3	ガイダンス ころの健康について	ガイダンス ころの健康とは何か 予習：ころの健康とはどのような状態にあることをいうのか、様々な世代や立場の人から意見を聞き、文章で整理しておく。 復習：ころの健康について、様々な定義をもとに自分の考えをFormsにまとめる。	
第2回	10/10	ころ（精神）のとらえ方	脳の構造と認知機能、精神（心）の構造と働き	
第3回	10/17	ころ（精神）の発達に関する主要な考え方と健康問題	ライフサイクルにおける精神的健康問題と精神発達の理論（フロイトの精神的発達理論、エリクソンの漸成的発達理論、Mahlarの分離個体化理論）	
第4回	10/24	環境におけるころ（精神）の健康問題	家族と精神（心）の健康、暮らしの場と精神（心）の健康、現代社会と精神（心）の健康（虐待、アルコール依存症、うつ病、自殺、ハラスメント、DV）	
第5回	10/31	ころ（精神）の危機状況と精神保健	危機理論、ストレス、ストレスマネジメント	
第6回	11/7	医療現場におけるコミュニケーション（1）	精神症状をもつ人とのコミュニケーション、ケア、コミュニケーション技術	
第7回	11/14	医療現場におけるコミュニケーション（2）	自己理解・他者理解、傾聴、共感	
第8回	11/21	まとめ	授業全体を通じたまとめ（半コマ）	
履修条件	特になし			
予習・復習	第1回は本シラバス参照。第2回以降の各予復習内容は、初回ガイダンス資料で提示する。			
テキスト	特に指定しない。授業の中で適時紹介する。			
参考書・参考資料等	特に指定しない。授業の中で適時紹介する。			
学生に対する評価	定期試験（65%）、課題（30%）、学習態度（5%）により総合的に評価する。			

授業 科目名	薬理学Ⅰ（総論） （PharmacologyⅠ）	履修年次：1年 必修 看, 栄, 歯 選択 理, 作	1単位 15時間 コード：BHA106	担当教員名： 科目責任者 橋本弘史 （安西尚彦、平山友里、 入鹿山容子、並木香奈）
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 薬物が生体に作用して起こす反応と、その作用がどのような作用機序で起きたかを知ることです。薬物治療において、その薬物はどのような場所に行き、どのような働きをするのか、またその薬物は生体において、どこで、どのように吸収され、どこで変化し、どのように排泄されるのかなどを学びます。例として、自律神経系に作用する薬物や痛みに対する薬物を挙げて講義を進めます。				
〔授業の概要〕 薬理学は生態系（人間）と化学物質（薬物）の相互作用を研究する生命科学の一つである。生体系の調節機構の障害などにより引き起こされた病態に対し、薬物は疾病の診断、病気の治療、また、予防などすべての分野において使用されている。本授業Ⅰ（総論）は、薬物がどのような作用を持っているのか、薬物の体内移動について、また薬物の相互作用などについて学習します。さらに、中枢神経系、末梢神経系に作用する薬物について学習します。				
キーワード：薬理作用、薬物代謝、自律神経系作用薬、中枢神経系薬、鎮痛薬、循環器系薬				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	担当
第1回	10/1	薬理学総論（1）	薬物と薬理学・薬物作用	橋本弘史
第2回	10/8	薬理学総論（2）	薬物の体内動態と薬物相互作用	安西尚彦
第3回	10/22	薬理学総論（3）	処方の実際・エイジング	橋本弘史
第4回	10/29	末梢神経系	自律神経と薬物 局所麻酔薬	平山友里
第5回	11/5	中枢神経系（1）	全身麻酔薬 催眠薬 抗不安薬 抗精神病薬 オピオイド鎮痛薬	平山友里
第6回	11/12	中枢神経系（2）	抗うつ薬 抗躁薬 抗てんかん	入鹿山容子
第7回	11/19	循環器系（1）	抗不整脈薬・心不全治療薬	並木香奈
第8回	11/26	循環器系（2）	虚血性心疾患治療薬 降圧薬	並木香奈
履修条件	特になし。			
予習・復習	事前に、テキストを見ておくように。復習にはノートの見直しをするように。			
テキスト	安西尚彦他：コメディカルのための薬理学 第4版，朝倉書店。 適宜プリント等を配布する。			
参考書・参考資料等	吉岡充弘他：系統看護学講座，専門基礎分野，薬理学，医学書院。			
学生に対する評価	定期試験の成績（90%）、各講義における小テストを含む授業態度等（10%）により、総合的に評価する。			

授業 科目名	薬理学Ⅱ（各論） （PharmacologyⅡ）	履修年次：1年	1単位 15時間	担当教員名： 科目責任者 橋本弘史 （並木香奈、平山友里、北村里衣、 高屋明子、石毛久美子）
		必修 看, 栄, 歯 選択 理, 作	コード：BHA107	
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 薬物が生体に作用して起こす反応と、その作用がどのような作用機序で起きたかを知ることです。薬物治療において、その薬物はどのような場所に行き、どのような働きをするのか、またその薬物は生体において、どこで、どのように吸収され、どこで変化し、どのように排泄されるのかなどを学びます。主要な治療薬の効き方と有害作用（副作用）を学びます。				
〔授業の概要〕 薬物療法の実際を各科にあわせて主な薬物を講義してゆきます。主に①血液系に作用する薬物、②免疫・呼吸器系に作用する薬物、③消化器系に作用する薬物、④泌尿器系に作用する薬物、⑤代謝・内分泌系に作用する薬物、⑥悪性腫瘍に対する薬物、⑦感染症に対する薬物、などについて、薬物の作用、作用機序、副作用などを上げて、疾病との関わりを学習する。 キーワード：呼吸器系薬、消化器系薬、泌尿器系薬、代謝・内分泌系薬、抗がん薬、抗菌薬、抗ウイルス薬				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	担当
第1回	11/26	血液系	抗凝固薬	並木香奈
第2回	12/3	泌尿器系	利尿薬 排尿治療薬	北村里衣
第3回	12/10	感染症（1）	抗菌薬	高屋明子
第4回	12/17	感染症（2） 泌尿器系	抗ウイルス薬	高屋明子
第5回	1/7	免疫系・呼吸器系	抗炎症薬 免疫抑制薬 抗アレルギー薬	石毛久美子
第6回	1/14	消化器系	抗潰瘍薬 制吐薬	石毛久美子
第7回	1/21	代謝・内分泌系	インスリン 糖尿病治療薬 性ホルモン 甲状腺ホルモン 副腎皮質ホルモン	石毛久美子
第8回	1/28	悪性腫瘍	抗がん剤	石毛久美子
履修条件	特になし。			
予習・復習	事前にテキストを見ておくように。復習にはノートの見直しをするように。			
テキスト	安西尚彦他：コメディカルのための薬理学 第4版，朝倉書店。 適宜プリント等を配布する。			
参考書・参考資料等	吉岡充弘他：系統看護学講座，専門基礎分野，薬理学，医学書院。			
学生に対する評価	定期試験の成績（90%）、各講義における小テストを含む授業態度等（10%）により、総合的に評価する。			

授業 科目名	病理学 I (総論) (Pathology I)	履修年次 必修	1 単位 15 時間	担当教員名: 福井謙二 [歯科医師] [死体解剖資格] (非常勤講師室)
		全学科専攻 1 年	コード: BHA108	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕 III 実践に必要な知識 IV 健康づくりの実践 VII 生涯にわたる探求心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 病理学は疾病の原因と成り立ちを究明する学問である。病理学総論として、疾病における、全身の臓器、組織に共通な変化を分類し理解する。さらにどのような機能的障害が引き起こされるかを学習する。病理学はしばしば基礎医学と臨床医学の境界領域に位置づけられるが、この講義で習得した知識や考え方が臨床医学の場で発展されることを目指す。				
〔授業の概要〕 疾病における、全身の臓器、組織に共通な変化として、先天異常・奇形、代謝障害、進行性病変、循環障害、炎症、腫瘍などに分類して解説する。 歯科医師、死体解剖資格認定の実務経験により、病理学 I の講義に関する学習の支援を行う。				
キーワード: 病理学, 先天異常, 代謝障害, 進行性病変, 循環障害, 炎症, 腫瘍				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第 1 回	4/9	病理学概説, 病因論	病理学の意義, 病理診断方法, 疾病の原因	
第 2 回	4/16	先天異常・奇形	遺伝性疾患, 染色体異常, 胎児障害	
第 3 回	4/23	退行性病変, 代謝障害	物質代謝異常による変化	
第 4 回	4/30	進行性病変	修復と再生時の変化	
第 5 回	5/7	循環障害	体液循環の異常による変化	
第 6 回	5/14	炎症, 免疫, 感染症	炎症の種類, アレルギー, 感染源と感染経路	
第 7 回	5/21	腫瘍	腫瘍の分類, 腫瘍の広がり	
第 8 回	5/28	統計	死因統計	
履修条件	特になし			
予習・復習	予習として解剖学, 生理学の見直し。復習としてハンドアウトの整理。			
テキスト	系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進 病理学 著者: 大橋健一他 医学書院			
参考書・参考資料等	特になし			
学生に対する評価	定期試験 (80%), 提出物 (10%), 学習態度 (10%) により評価する。			

授業 科目名	病理学Ⅱ (各論) (Pathology II)	履修年次 1年	1単位 15時間	担当教員名: 福井謙二 [歯科医師] [死体解剖資格] (非常勤講師室)
		必修: 看, 栄, 歯 選択: 理, 作	コード: BHA109	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識 Ⅳ 健康づくりの実践 Ⅶ 生涯にわたる探求心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 病理学は疾病の原因と成り立ちを究明する学問である。病理学各論として、各臓器・系統別に疾病の原因、経過から終焉までの流れを理解する。疾病の原因によって生じる形態学的な変化を理解し、さらにどのような機能的障害が引き起こされるかを学習する。 病理学はしばしば基礎医学と臨床医学の境界領域に位置づけられるが、この講義で習得した知識や考え方が臨床医学の場で発展されることを目指す。				
〔授業の概要〕 循環器系、呼吸器系、消化器系など、各臓器・系統別の疾患について解説する。 歯科医師、死体解剖資格認定の実務経験により、病理学Ⅱの講義に関する学習の支援を行う。				
キーワード: 病理学, 臓器別, 系統別				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	5/28	循環器系の疾患	心筋梗塞, 動脈硬化症など	
第2回	6/4	血液・造血器系の疾患	貧血, 白血病など	
第3回	6/11	呼吸器系の疾患	鼻炎, 肺炎, 肺癌など	
第4回	6/18	消化器系の疾患	食道癌, 胃潰瘍, 胃癌, 炎症性腸疾患, 大腸癌, 胆石, 肝炎など	
第5回	6/25	腎, 泌尿器系の疾患	腎炎, 尿路結石, 膀胱癌など	
第6回	7/2	生殖器系, 乳腺の疾患	前立腺肥大症, 前立腺癌, 子宮癌など	
第7回	7/9	神経系の疾患	脳出血, 脳梗塞, アルツハイマー病, パーキンソン病など	
第8回	7/16	運動器系の疾患	筋委縮性側索硬化症, 筋ジストロフィー, 重症筋無力症など	
履修条件	特になし			
予習・復習	予習として解剖学, 生理学の見直し. 復習としてハンドアウトの整理			
テキスト	系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進 病理学 著者: 大橋健一他 医学書院			
参考書・参考資料等	特になし			
学生に対する評価	定期試験 (80%), 提出物 (10%), 学習態度 (10%) により評価する。			

授業 科目名	微生物学 I (総論) (Microbiology)	履修年次:	1 単位 15 時間	担当教員名: 清水 健 (非常勤講師室)
		必修: 看・歯・理 1 年 選択: 栄 1・4 年、作 1 年	コード: BHA110	
〔DP〕 III 実践に必要な知識, IV 健康づくりの実践, V 健康づくりの環境の整備・改善				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 本授業では、以下の項目を到達目標とした講義を行い、到達目標の達成度を評価する。 ① 微生物の種類と各微生物の特徴を理解し、述べるができる。 ② 病原微生物の感染経路、感染症の発症、生体の応答について概略を説明することができる。 ③ 病原微生物に対する生体の応答について概略を説明することができる。				
〔授業の概要〕 感染症は全ての診療科に関連する重要な疾患で、医療の現場では様々な感染症に対する知識が必要不可欠である。この授業では講義形式により、感染症の原因となる各種病原微生物の一般的な性質と、それらが人体に感染する仕組みと予防を学ぶ。さらに、感染症に対する生体の免疫応答機構の仕組みについても学ぶ。授業終了後には、医療の現場で感染症の原因となる病原微生物の基礎知識が身に付いていることを目的とする。				
キーワード: 細菌、ウイルス、真菌、免疫				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第 1 回	4/9	微生物の性質	細菌の性質・真菌の性質	
第 2 回	4/16	微生物の性質	原虫の性質・ウイルスの性質	
第 3 回	4/23	感染と感染症	病原微生物の感染、感染成立、発症、治癒	
第 4 回	4/30	感染と感染症	各病原微生物の感染経路、感染症の特徴	
第 5 回	5/7	生体防御反応と免疫応答	自然免疫のしくみ	
第 6 回	5/14	生体防御反応と免疫応答	獲得免疫のしくみ、感染症の症状	
第 7 回	5/21	感染源・感染経路	感染経路と病原微生物	
第 8 回	5/28	まとめ	病原性微生物の理解を深める	
履修条件	特になし			
予習・復習	予習としてテキストを確認し、復習はテキスト、プリントの見直しをすること。			
テキスト	「微生物学」系統看護学講座専門基礎分野、医学書院			
参考書・参考資料等	指定しない。授業の中で適宜紹介する。			
学生に対する評価	定期試験 (90%)、日ごろの学習態度 (10%) により、総合的に評価する。			

授業 科目名	微生物学Ⅱ (各論) (Microbiology)	履修年次:	1 単位 15 時間	担当教員名: 清水 健 (非常勤講師室)
		必修: 看・歯1年 選択: 栄1・4年、理・作1年	コード: BHA111	
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識, Ⅳ 健康づくりの実践, Ⅴ 健康づくりの環境の整備・改善				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 本授業では、以下の項目を到達目標とした講義を行い、到達目標の達成度を評価する。 ① 病原微生物の滅菌法と消毒法を理解し、述べることができる。 ② 感染症の治療・予防法について理解し、述べるができる。 ③ 感染症の検査法について述べるができる。 ④ 感染症の問題点を理解し、対策について述べるができる。				
〔授業の概要〕 感染症は全ての診療科に関連する重要な疾患で、医療の現場では様々な感染症に対する知識が必要不可欠である。この授業では講義形式により、特徴的な感染症とその原因となる各種病原微生物を学ぶ。さらに、院内感染と感染対策、人獣共通感染症、新たな新興感染症、再興感染症を学び、いかなる感染症にも対応できる応用力を身に付ける。授業終了後には、医療の現場で感染症に対処するための基礎知識が身に付いていることを目的とする。				
キーワード: 滅菌、消毒、ワクチン、検査法、治療法				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	5/28	微生物の基礎	微生物の分類と特徴	
第2回	6/4	滅菌と消毒 ワクチンと予防接種	様々な滅菌・消毒法の原理と適応 ワクチンの種類と現行の予防接種	
第3回	6/11	病原体の検査法	病原微生物の主な検査法の原理と意義	
第4回	6/18	感染症の治療	抗生物質、抗菌薬、抗真菌薬、抗寄生虫薬、抗ウイルス薬	
第5回	6/25	感染症の現状と対策	新興・再興感染症、院内感染	
第6回	7/2	特徴的な病原微生物	病原細菌・病原真菌・病原原虫	
第7回	7/9	特徴的な病原微生物	主なウイルス	
第8回	7/16	まとめ	病原性微生物の対処について理解を深める	
履修条件	特になし			
予習・復習	予習としてテキストを確認し、復習はテキスト、プリントの見直しをすること。			
テキスト	「微生物学」系統看護学講座専門基礎分野、医学書院			
参考書・参考資料等	指定しない。授業の中で適宜紹介する。			
学生に対する評価	定期試験 (90%)、日ごろの学習態度 (10%) により、総合的に評価する。			

授業 科目名	発達心理学 (Developmental Psychology)	履修年次 選択	1 単位 15 時間	担当教員名: 高梨一彦 (非常勤講師室)
		看 2 年、栄 1, 4 年 歯・理・作 1 年	コード: BHA112	
〔DP〕 III 実践に必要な知識, IV 健康づくりの実践, V 健康づくりの環境の整備・改善				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 発達するということはどういうことか、また、人間として発達していくことでどのような変化があるのか、各年齢段階（乳幼児期～老年期）について発達を眺めていく。その際に社会との関わりや個人内の要因あるいはそれらの相互作用としての人格の変化や生物学的な要因などを含めて講義する。				
〔授業の概要〕 発達心理学からみた年齢による変化とその時期による違いを示す。また、人の発達を生物学的、社会的、心理学的側面の 3 つから扱い、医療的なかわりを行う際に注意すべき点や特質に関して各時期に関連する絵本を題材として扱いながら、発達に関する知識の定着をめざして講義する。				
キーワード: 年齢段階、発達理論、身体発達と精神発達、人間関係、ライフコース				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第 1 回	4/8	ガイダンス・オリエンテーション	本講義を履修するに当たって注意すべきこと、履修上の約束事等の確認	
第 2 回	4/15	発達とは?	発達についての基本的な考え方、生涯発達の概念、遺伝と環境について	
第 3 回	4/22	乳幼児期の発達	発達初期の重要性と諸種の発達理論からみた乳幼児期の特徴について	
第 4 回	5/13	児童期の発達	他者との人間関係という視点からみた児童期の特徴と主要な発達理論における児童期のとらえ方	
第 5 回	5/20	青年期の発達	社会との関わりにおける青年期と身体発達の側面からみた青年期・思春期について	
第 6 回	5/27	壮年期・中年期の発達	身体的な変化と心の変化を通してみる成人期と壮年期について	
第 7 回	6/3	老年期の発達	社会的および精神的な変化と老年期	
第 8 回	6/10	ライフサイクルとライフコース	ライフコース論からみた発達と性差による発達の違い	
履修条件	特になし。			
予習・復習	事前に配布された資料を読んで予習する。授業後に資料を読み返して自分が取ったメモ等を確認して復習する。			
テキスト	特になし。			
参考書・参考資料等	発達心理学ハンドブック（東・繁多・田島編、1992、福村） Lifelong Human Development（John Wiley & Sons、1988）			
学生に対する評価	定期試験 60%、リアクションペーパーならびに小テスト 30%、受講態度 10%を基本にして総合的に評価する。			

授業 科目名	臨床心理学 (Clinical Psychology)	必修:理・作1年	1単位30時間	担当教員名: 谷口 清 [公認心理師] (研究室:非常勤講師室) e-mail:yaguppa@gmail.com
		選択:看1年(編3年) 歯1年、栄1・2・4年		
実務経験のある教員による授業科目				
〔DP〕Ⅱ コミュニケーション能力、Ⅲ 実践に必要な知識、Ⅴ 健康づくりの環境の整備・改善				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 臨床心理学の基礎知識と考え方を学び、保健・医療・福祉領域の専門性として欠くことのできない、心理学的支援の視点を修得する。				
〔授業の概要〕 ① 各発達期に認められる心の問題を通して、心の仕組みとその多様な現れを学ぶ ② 心理アセスメント、心理検査について学ぶ(問題の種別と程度の客観的評価) ③ 様々な心理支援法の基本的考え方を学ぶ 公認心理師、臨床心理士としての実務経験に基づき、それぞれの心理支援法を概説して心理相談・心理援助の基本を学ぶ				
キーワード:臨床心理学、発達と精神の障害、心理アセスメント、心理支援、地域・組織援助				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	10/1	オリエンテーション	授業の進め方、受講に関する注意事項など	
第2回	10/8	臨床心理学とは	領域の概要(歴史・構造と機能・鍵概念)	
第3回	10/22	臨床心理学をとりまく概念	臨床心理学の見方と研究方法	
第4回	10/29	子どもをとりまく問題(1)	乳児期・児童期と児童虐待(アタッチメントの形成と障害)	
第5回	11/5	子どもをとりまく問題(2)	発達障害・不登校・いじめ	
第6回	11/12	思春期・青年期をとりまく問題	発達課題、摂食障害、非行、自傷・自死	
第7回	11/19	成人期をとりまく問題	不安障害、パーソナリティ障害、統合失調症、嗜癖等	
第8回	11/26	ストレスと健康	PTSD、うつ、神経症、ストレス対処	
第9回	12/3	心理アセスメントとは	その定義・目的・観点・実際等	
第10回	12/10	心理検査	心理検査の種類・概要、心理検査の条件・実際と限界	
第11回	12/17	心理療法(1)	心理カウンセリングと代表的心理療法	
第12回	1/7	心理療法(2)	家族療法、集団心理療法、臨床心理的地域援助等	
第13回	1/14	高齢期をとりまく問題	高齢期の特徴と心理的援助の基本姿勢、認知症	
第14回	1/21	社会の変化と臨床心理学	高度情報化社会における家族機能の変化と心理支援	
第15回	1/28	総括	授業のまとめ	
履修条件		特になし		
予習・復習		事前にテキストの当該部分を熟読し事後には配布資料・テキストを見直すこと		
テキスト		横田正夫 編著 ポテンシャル 臨床心理学 サイエンス社 2016年 谷口 清 著 発達臨床心理学 遠見書房 2018年		
参考書・参考資料等		授業時に配布する		
学生に対する評価		筆記試験(もしくはレポート)80%と通常授業への取り組み姿勢(授業態度・課題の遂行)20%で評価する。		

授業 科目名	健康論 (Studies of Health)	必修：作1年	1 単位 15 時間	担当教員名： 渡辺 満利子 [医学博士・管理栄養士] (非常勤講師室)
		選択：看1年, 栄1.2.4年 歯1年, 理1年	コード:BHB101	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕 I 倫理観とプロフェッショナリズム, III 実践に必要な知識 IV 健康づくりの実践				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 本授業は、倫理観とプロフェッショナリズムに則り、人間の健康維持・管理の実践に必要な知識と実践法の獲得を目標に、次のテーマを学修できる。 ①各世代の健康課題のアセスメント・目標設定・実施・評価法を学習し健康づくり方策を獲得できる。 ②千葉県民の健康課題のアセスメント・目標設定・実施・評価法を学習し健康づくり方策を獲得できる。				
〔授業の概要〕 “健康寿命延伸”の3本柱：健康な生活習慣の確立、感染症・NCDsの発症・重症化予防に則り健康寿命三大リスクのメタボ・認知症・ロコモ予防は、青少年期の健康なライフスタイルが基盤となり、成人期・高齢期の健康に繋がる。人生100年時代を老い衰え、生きるのではなく、生き生き生き抜く健康方策を学習する。併せて、千葉県民の健康増進プラン策定・実践・評価策を学習する。担当者は、昭和女子大学大学院教授(医学博士)、熊本県立大学客員教授を歴任、教育・研究エビデンスの数々を活用し、医療法人成人病医学センター(新宿)、同そら内科クリニック(埼玉)(医学博士・管理栄養士)における実務経験から、各世代の健康対策、疾病予防・重症化予防策等をPDCAに基づき獲得できる。				
キーワード：健康・健康寿命延伸・感染症・NCDs・予防・アセスメント・プログラム・実践・評価				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	
第1回 17:15-18:00	5/30	健康とは 1	授業ガイダンス、シラバスに基づき授業目標、授業概要、学生に対する評価等について。	
第2回 16:30-18:00	6/6	健康指標 1	健康とは？ 近年の疾病構造、健康日本 21(第3次)、健康寿命延伸の3本柱とは	
第3回	6/13	健康指標 2	青少年期,健康な生活習慣を身に付ける！ この学びこそ、健康寿命延伸への第一歩！	
第4回	6/20	健康指標 3	成人期のNCDs発症と重症化予防、健康寿命延伸の 3 大リスク：メタボ・認知症・ロコモ予防策の実践法	
第5回	6/27	健康指標 4	高齢期、人生100年時代、生き生き生き抜くために、 目指すは“介護されない”、ウエルビーング方策	
第6回	7/4	健康増進活動 1	千葉県民の健康に係る生活習慣の現状(R3)を読み解き 千葉県民の健康課題を検討、アセスメント(目標設定)	
第7回	7/11	健康増進活動 2	PDCA：Plan→Do→Check→Actionの具体的な方策案を 事例に基づき策定する。	
第8回	7/18	まとめ 3	授業を通じたまとめ	
履修条件	特になし。			
予習・復習	配布資料・ノートを熟読・理解し、関連分野の学習を究める。			
テキスト	テキストに準ずる配布資料とする。			
参考書・資料等	授業時に適宜提示。			
学生に対する評価	定期試験(80%) , 学習態度(20%)			

授業 科目名	公衆衛生学 I (基礎) (Public Health I)	必修：看1年、 栄・歯・理2年 選択：作2年	1単位 15時間 コード:BHB102	担当教員名： 科目責任者 中込敦士 田村元樹、小林周平、阿部紀之 近藤克則、井出一茂、中込灯 (非常勤講師室)
		実務経験のある教員による授業科目		
[DP] V 健康づくりの環境の整備・改善 III 実践に必要な知識				
[授業の到達目標及びテーマ] 現代社会では、感染症の流行、生活習慣病、少子高齢化、地球環境問題、健康格差、災害など様々な問題が人々の健康を脅かしている。このような健康課題を、社会全体として解決していくことが公衆衛生の目的である。保健・医療・福祉の専門職として、公衆衛生の目的、歴史、考え方、手法を学び、地域の中で展開される様々な公衆衛生活動の実例を理論的に説明できることを目標とする。				
[授業の概要] 公衆衛生学は人々の安全安心、健康増進のために科学、社会学、統計学の手法を駆使して、健康問題を解決することを目指している。講義では法規やシステム、数値の単なる暗記とならないように、考える力、自ら問題を発見し解決する能力を養う。医師・保健師・作業療法士が実務経験により、実例を用いた授業を行う。 キーワード：公衆衛生、予防、環境、保健統計、社会医学				
[授業計画]				
回数	日付	テーマ	内容	担当
第1回	4/10	公衆衛生とは	公衆衛生の理念、健康の概念・定義、公衆衛生の課題	中込敦士 [医師]
第2回	4/17	公衆衛生の歴史	近代の公衆衛生の発展、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション、SDGs	田村元樹 [元医療経済研究機構・日本医療政策機構]
第3回	4/24	疾病予防と健康管理	予防の概念（一次/二次/三次予防、ポピュレーションアプローチ/ハイリスクアプローチ）、地域アセスメント	小林周平 [作業療法士]
第4回	5/1	健康と環境	地球環境、環境保全対策、生活環境の安全、建造環境	阿部紀之 [理学療法士]
第5回	5/8	健康と社会	社会的決定要因、社会的公正 ソーシャルキャピタル	近藤克則 [医師]
第6回	5/15	人口統計・保健統計	人口問題、人口動態統計、国勢調査、国民生活基礎調査、患者調査	井手一茂 [理学療法士]
第7回	5/22	地域保健	地方自治のしくみ、保健所、保健センター	中込(灯) [保健師]
第8回	5/29	まとめ、最新のトピックス	行動経済学、アプリの活用	中込敦士 [医師]
履修条件	特になし			
予習・復習	予習としてテキストを熟読のこと。			
テキスト	シンプル衛生公衆衛生学、南江堂			
参考書・参考資料等	国民衛生の動向、e-Stat（政府統計の総合窓口）、公衆衛生 第5版（ナーシング・グラフィカ 健康支援と社会保障 2）など適宜紹介する			
学生に対する評価	各回の課題（20%）、試験（80%）			

授業 科目名	公衆衛生学 II (応用) (Public Health II)	必修：看, 栄 2 年	1 単位 15 時間	担当教員名： 科目責任者 中込敦士 井出一茂、阿部紀之、飯塚玄明 田村元樹、竹内寛貴、武藤剛 (非常勤講師室)
		選択：歯, 理, 作 2 年	コード: BHB201	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕 V 健康づくりの環境の整備・改善 III 実践に必要な知識				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 公衆衛生学では、集団レベルでの健康の増進と疾患の予防を考える。この講義では公衆衛生学 I で学んだ基礎的事項をもとに、最新データを用いながら日本の公衆衛生の現状や課題、公衆衛生行政の役割について学ぶことを目的とする。				
〔授業の概要〕 公衆衛生学は人々の安全安心、健康増進のために科学、社会学、統計学の手法を駆使して、健康問題を解決することを目指している。講義では法規やシステム、数値の単なる暗記とならないように、考える力、自ら問題を発見し解決する能力を養う。医師・保健師・作業療法士が実務経験により、実例を用いた授業を行う。				
キーワード：公衆衛生、予防、保健制度、医療制度				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	担当
第 1 回	11/20	精神保健	精神障害、精神保健福祉法、障害者総合支援法	井手一茂 [理学療法士]
第 2 回	11/27	母子保健・高齢者保健	母子保健対策・施策、高齢者保健、認知症と対策	阿部紀之 [理学療法士]
第 3 回	12/4	医療制度 1	国民医療費、医療機関、健康保険	飯塚玄明 [医師]
第 4 回	12/11	医療制度 2	医療法、医療計画、地域包括ケア	飯塚玄明 [医師]
第 5 回	12/18	社会保障	社会保障制度、社会保障費、生活保護、年金	田村元樹 [元医療経済研究機構・日本医療政策機構]
第 6 回	1/8	感染症	感染症の流行状況、主な感染症予防対策、予防接種	竹内寛貴 [理学療法士]
第 7 回	1/15	産業保健	職場の安全・健康管理	武藤剛 [医師]
第 8 回	1/22	まとめ	まとめ	中込敦士 [医師]
履修条件	特になし (公衆衛生学 I を履修していることが望ましい)			
予習・復習	予習としてテキストを熟読のこと。			
テキスト	シンプル衛生公衆衛生学、南江堂 (公衆衛生学 I と同じ教科書)			
参考書・参考資料等	国民衛生の動向、e-Stat (政府統計の総合窓口)、公衆衛生 第 5 版 (ナーシング・グラフィカ 健康支援と社会保障 2) など適宜紹介する			
学生に対する評価	各回の課題 (20%)、試験 (80%)			

授業 科目名	授業科目名： 疫学・保健統計 I(基礎) (Epidemiology and health statistics I Basic)	必修：看、栄3年	1単位 15時間	担当教員名： 山村重雄 [薬剤師] (非常勤講師室)
		選択：歯、理、作3年	コード：BHB103	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕 V 健康づくりの環境の整備・改善 III 実践に必要な知識				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 医療や保健に関連する情報は世の中に数多く存在しているが、中には怪しい情報もたくさんある。医療や保健の領域で働く専門職にとって必要な情報を正しく読み取り、患者に正確に伝えるスキルは必須である。さまざまな医療行為や介入が有用であることを証明するためには科学的な考え方が必要である。ここでいう科学的考え方の基本となるものが疫学と統計学である。様々な医療に関わる情報を科学的に評価することができるようになる基礎を身に着けることを目的とする。				
〔授業の概要〕 医療に関連した情報を統計学的な考え方に基づいて科学的に読み解くための基礎を学ぶ。一つの柱である統計学からはデータの正しさをどうやって評価するかを学ぶ。もう一つである疫学からは研究デザインを学び、リスクの大きさや結果の中に潜むバイアスの可能性を考える。また、講義では、できるだけ実際のデータを用いて医療に関する情報を科学的に評価する道筋を身に着ける。疫学・保健統計 I (基礎) では統計の復習と疫学研究のデザインに関する内容を概説する。				
キーワード：疫学、生物統計、保健統計、研究デザイン				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	
第1回	4/12	統計学の基礎 (1)	統計学の考え方、標本、母集団、データのまとめ方 (教科書第7章)	
第2回	4/19	統計学の基礎 (2)	データの代表値とばらつき、正規分布 (教科書第7章)	
第3回	4/26	統計学の基礎 (3)	相関係数と回帰係数、検定と推定 (教科書第7章)	
第4回	5/10	統計学の基礎 (4)	検定各論、 χ^2 二乗検定、t 検定 (教科書第7章)	
第5回	5/17	疫学の概念	疫学の概念と歴史 (教科書第1章)	
第6回	5/24	疫学研究 (1)	記述疫学とそのデザイン (教科書第2章)	
第7回	5/31	疫学研究 (2)	症例対照研究とコホート研究 (教科書第2章)	
第8回	6/7	疫学研究 (3)	リスク指標の計算とバイアス (教科書第2章) 0.5 回分	
履修条件	電卓を持ってきてください。携帯でも可			
予習・復習	予習としてテキストを読んでくること。毎回講義の後に課題を出すので指定日までに Teams を経由して提出すること。			
テキスト	浅野嘉延著 看護学生のための疫学・保健統計 南山堂 (7、1、2章)			
参考書・参考資料等	プリント等、その都度紹介する。			
学生に対する評価	講義への参加、課題内容を含む (30%)・試験 (70%) により総合的に評価する。			

授業 科目名	疫学・保健統計 II(応用) (Epidemiology and health statistics II Application)	必修：看、栄3年	1単位 15時間	担当教員名： 山村重雄 [薬剤師] (非常勤講師室)
		選択：歯、理、作3年	コード：BHB202	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕 V 健康づくりの環境の整備・改善 III 実践に必要な知識				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 医療や保健に関連する情報は世の中に数多く存在しているが、中には怪しい情報もたくさんある。医療や保健の領域で働く専門職にとって必要な情報を正しく読み取り、患者に正確に伝えるスキルは必須である。さまざまな医療行為や介入が有用であるかを証明するためには科学的な考え方が必要である。ここでいう科学的考え方の基本となるものが疫学と統計学である。様々な医療に関わる情報を科学的に評価することができるようになる基礎を身に着けることを目的とする。				
〔授業の概要〕 医療に関連した情報を統計学的な考え方に基づいて科学的に読み解くための基礎を学ぶ。一つの柱である統計学からはデータの正しさをどうやって評価するかを学ぶ。もう一つである疫学からは研究デザインを学び、リスクの大きさや結果の中に潜むバイアスの可能性を考える。また、講義では、できるだけ実際のデータを用いて医療に関する情報を科学的に評価する道筋を身に着ける。疫学・保健統計 II(応用)では、より具体的に疫学研究で得られる結果の解釈、保健統計の読み方、スクリーニングの考え方について学ぶ。				
キーワード：人口統計、スクリーニング、感染症・生活習慣病の疫学				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	6/7	疾病頻度の指標(1)	有病率と罹患率(第3章) 0.5回分	
第2回	6/14	疾病頻度の指標(2)	死亡率とその調整(第3章)	
第3回	6/21	保健統計(1)	人口静態統計(第4章)	
第4回	6/28	保健統計(2)	人口動態統計(第4章)	
第5回	7/5	スクリーニング(1)	スクリーニングの意味、感度と特異度(第5章)	
第6回	7/12	スクリーニング(2)	スクリーニング結果の見方(第5章)	
第7回	7/19	主な疾患の疫学	感染症の疫学、感染症以外の疫学(第6章)	
第8回	7/26	まとめ	全体のまとめ、特に計算問題の復習	
履修条件	電卓を持ってきてください。携帯でも可			
予習・復習	予習としてテキストを読んでくること。毎回講義の後に課題を出すので指定日までに Teams を経由して提出すること。			
テキスト	浅野嘉延著 看護学生のための疫学・保健統計 南山堂(3-6章)			
参考書・参考資料等	プリント等、その都度紹介する。			
学生に対する評価	講義への参加、課題内容を含む(30%)・試験(70%)により総合的に評価する。			

授業 科目名	リハビリテーション概論 (Introduction to rehabilitation)	履修年次：	1 単位 15 時間	担当教員名： 金子 徹 [リハビリテーション科医 師] (研究室：仁戸名 2)
		必修：歯・理・作 選択：看・栄	コード：BHB104	
		実務経験のある教員による授業科目		
[DP] III 実践に必要な知識, I 倫理観とプロフェッショナリズム, II コミュニケーション能力				
[授業の到達目標及びテーマ]				
<p>「リハビリ」という言葉は日常生活の中で、よく見聞きするが、その多くは「機能回復訓練」「社会復帰」の意味で使用されている。これは「リハビリテーション」本来の持つ意味のごく一部でしかない。この授業では「リハビリテーション」の4つの側面（「医療」「教育」「社会」「職業」）を理解できることを目標とする。</p>				
[授業の概要]				
<p>リハビリテーションの概念、障害の捉え方などについての基本的知識・考え方を修得する。本科目では、リハビリテーションの定義・歴史的背景、国際生活機能分類に基づく障害構造、わが国におけるリハビリテーション医療の流れ、ノーマライゼーションの理念などを知り、チームアプローチによってリハビリテーションが行われること理解する。身体的な障害に限らずストレス等を含む精神的な障害にも共感できることも目的とする。整形外科・リハビリテーション科医師の実務経験に基づき学修の支援を行う。</p>				
キーワード：ノーマライゼーション、ADL、QOL、ICIDH、ICF				
[授業計画]				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	11/21	リハビリテーションとは	英語「Rehabilitation」の意味、障害者に関連するマーク	
第2回	11/28	リハビリテーションの歴史	リハビリテーションの歴史・4つの側面・定義	
第3回	12/5	障害の階層・分類	国際障害分類 (ICIDH) と国際生活機能分類 (ICF)	
第4回	12/12	リハビリテーション医療1	リハ医療の対象となる障害 (1)	
第5回	12/19	リハビリテーション医療2	リハ医療の対象となる障害 (2)	
第6回	1/9	日常生活活動の障害	ADL (日常生活活動) 障害	
第7回	1/23	障害者心理、リハ職種	障害者の心理、評価、リハビリテーション医療に関わる職種、リハ医療の進め方	
第8回	1/30	社会復帰にむけて	いろいろな社会資源、障害者に関連するマーク	
履修条件		特になし。		
予習・復習		「障害者」関係のニュースに注目していること。復習にはノートの見直しを推奨。		
テキスト		「リハビリテーション医療入門 増補版」武智 秀夫著 医学書院刊		
参考書・参考資料等		「リハビリテーションの思想第2 版増補版」上田 敏著 医学書院刊		
学生に対する評価		定期試験 (90%)、日ごろの学習態度 (10%) により評価する。		

授業 科目名	救命・救急の理論と実際 Theory of Emergency Care	履修年次 必修：看2年・看編3年 理2年・作2年 歯2年 選択：栄2・4年	単位数 1単位 15時間	担当教員名： 科目責任者 三枝香代子〔看護師〕 (研究室 教育棟 B318) 田口智恵美〔看護師〕・大内美穂子〔看護師〕 大塚 知子〔看護師〕・坂本 明子〔看護師〕
		実務経験のある教員による授業科目		

〔DP〕 I 倫理観とプロフェッショナリズム、III 実践に必要な知識、VI 多職種との協働

〔授業の到達目標及びテーマ〕

- ①わが国の救急医療体制についての理解を基盤に、わが国そして千葉県における救急医療の現状と課題を理解できる。
②一次救命処置（BLS）および応急処置の理論を理解し、一次救命処置の基本技術を習得できる。

〔授業の概要〕

わが国および千葉県における救急医療の現状と課題について教授する。また、プレホスピタルケアにおいて重要な役割を果たす救急救命士の役割と活動、脳死状態に陥った救急患者に対して行われる臓器移植の現状と課題、一次救命処置および応急処置の理論について実務経験に基づき教授し、さらに演習をとおして一次救命処置の基本技術の獲得をめざす。

キーワード：救急医療、救急医療体制、心肺蘇生法、臓器移植、救急救命士

〔授業計画〕

回数	日付	テーマ	内容	担当者
第1回	4/12 III	ガイダンス	履修の準備、受講に関する注意事項など	三枝香代子
第2回	4/19 III	わが国の救急医療体制	わが国の救急医療体制、救急医療の現状と課題	田口智恵美
第3回	4/26 III	一次救命処置および応急処置の理論	一次救命処置および応急処置を実施するための理論	三枝香代子
第4回	2クラス 4/30 III 1クラス 5/1 III	一次救命処置の実際 (看護・編入のみ)	グループに分かれて一次救命処置の演習	三枝香代子 田口智恵美 大内美穂子 大塚 知子 坂本 明子
第4回	5/10 III	一次救命処置の実際 (歯科・理学・作業のみ)	グループに分かれて一次救命処置の演習	
第5回	5/17 III	千葉県における救急医療体制	千葉県の救急医療体制、救急医療の現状と課題	特別講義講師 〔医師〕
第6回	5/24 III	救急救命士の役割と活動の実際	救急救命士が果たす役割と活動の実際	特別講義講師 〔救急救命士〕
第7回	5/31 III	救急患者と臓器移植	救急患者と臓器移植	特別講義講師 〔看護師〕
第8回	6/7 III	まとめ	授業全体を通じたまとめ	三枝香代子

履修条件 演習を行う都合上受け入れ学生は160名程度とする。第1回目授業で人数調整を行うため、受講希望者は必ず出席すること。第1回目授業を欠席した者の受講は認めない。

予習・復習 各担当教員の指示による

テキスト 特になし

参考書・参考資料等 授業の中で適宜紹介する。

学生に対する評価 定期試験（50%）、技術の修得状況（40%）、態度（10%）により評価する。

授業 科目名	画像診断学 Diagnostic Radiology	履修年次: 必修:理・作 2年 選択:看 2年 栄 2・3年 歯 2・3・4年	単位数:1 単位 15 時間	担当教員名: 科目責任者:山本 達也 [脳神経内科医師] (研究 室:仁戸名 9)、太和田 暁 之[内科医師] (研究室: 図棟 9)、金子 徹 [リハ ビリテーション科医師] (研究室:仁戸名 2)
		実務経験のある教員による授業科目		
[DP] II コミュニケーション能力、III 実践に必要な知識、VI 多職種との協働				
[授業の到達目標及びテーマ] 電子カルテの普及によって医師以外の医療職者も、医用画像を目にする機会が増えている。単純X線写真、断層X線写真、CTスキャン、MRI等の各種の画像と病態とが結びつくことで、疾患及び障害の現状、今後予測される機能的、能力的予後を考察できることが望まれる。画像診断機器の基本原則と画像診断の理論、ならびに、代表的な疾患・障害での画像のみかたを学ぶことにより、臨地・臨床実習において最小限の指導の下で、患者・対象者の病態を踏まえた合理的な評価・測定・予後予測・ケアプラン作成・介入等ができるようになることを目標とする。				
[授業の概要] 単純X線撮影法、造影X線撮影法、画像診断機器 (CT:Computed Tomography、MRI:Magnetic Resonance Imaging 等) の基本原則と画像診断の理論、医療被曝について学ぶ。各種疾患の画像所見を解剖学的に理解する。本授業は各領域専門医として実務経験のある教員により行われる。				
キーワード: 解剖学、予後、評価				
[授業計画]				
回数	日付	テーマ	内容	担当
第1回 (後半45分)	11/20	総論	画像検査法	金子 徹
第2回	11/27	画像解剖学・疾患各論 1	脊椎・脊髄	金子 徹
第3回	12/4	画像解剖学・疾患各論 2	四肢の外傷	金子 徹
第4回	12/11	画像解剖学・疾患各論 4	四肢の疾患	金子 徹
第5回	12/18	画像解剖学・疾患各論 5	胸部	太和田 暁之
第6回	1/8	画像解剖学・疾患各論 6	腹部	太和田 暁之
第7回	1/15	画像解剖学・疾患各論 7	脳血管疾患	山本 達也
第8回	1/22	画像解剖学・疾患各論 8	脳血管疾患以外の中枢神経系	山本 達也
履修条件	人体の構造 (解剖学) と関連づけて学習すること。			
予習・復習	予習としてテキストを熟読のこと。			
テキスト	「PT・OTのための画像診断マニュアル」医学教育出版社			
参考書・参考資料等	「PT・OT基礎から学ぶ画像の読み方」第3版 医歯薬出版 「画像診断コンパクトナビ」第4版 医学教育出版社			
学生に対する評価	定期試験 (90%)、学習態度 (10%)			

授業 科目名	保健医療福祉論Ⅰ（基礎） （Social welfare and health policy Ⅰ）	履修年次:必修	1 単位 15 時間	担当教員名: 佐藤真生子 〔社会福祉士〕 （非常勤講師室）
		全学科専攻 2 年	コード:BHB105	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識、Ⅴ 健康づくりの環境の整備・改善、Ⅵ 多職種との協働				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 本科目の目標は以下の4点である。 ① 社会保障の必要性、理念、役割、基本的枠組みを理解し、説明できる。 ② 社会福祉の基本概念、各分野の法や制度の概要を理解する。 ③ 対人援助職として必要となる援助視点のポイントを押さえる。 ④ 授業を通じ、福祉社会における、“一専門職としての私”の役割を具体的に考えることができる。				
〔授業の概要〕 私たちは、常に様々なリスクと隣り合わせで生きている。中でも“貧困と疾病の悪循環”との闘いは、過去も現在も未来も世界共通の問題である。それゆえ、先人たちは知恵を絞って、様々な制度をつくってきた。その一つが社会保障や社会福祉である。 本講では、まず、社会保障の歴史的背景、制度概要を学ぶ。次いで、社会保険、公的扶助、社会福祉各制度のポイントを押さえつつ、現在の課題についても学習を深めていく。その際、ゲストスピーカーの語り、関連動画なども取り入れる予定。※途中、シラバスの順序や内容の一部を変更する場合もある。 キーワード: ナショナルミニマム、セーフティーネット、自立支援、当事者主体、地域共生				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	10/2	社会保障とは	社会保障5大ポイント（誰のため？何のため？何をやる？どんな役割？守備範囲は？）を学ぶ	
第2回	10/9	所得保障	所得保障対策（年金制度、生活保護制度、社会手当など）	
第3回	10/16	社会福祉とは	社会福祉の概要（基本となる法と制度、専門機関）	
第4回	10/23	障がい児・者の福祉①	ゲスト講話から、「地域で普通に暮らす」を考える （日程は変更の可能性あり）	
第5回	10/30	障がい児・者の福祉②	障がい概念 障がい児・者を支える法や制度の概要	
第6回	11/6	子ども家庭福祉①	子ども家庭福祉を支える法の概要 子どもの福祉問題（子どもの貧困）	
第7回	11/13	子ども家庭福祉②	子どもの福祉問題（児童虐待） 子育て支援対策の動向	
第8回	11/20	まとめ	専門職に求められる援助視点	
履修条件		特になし		
予習・復習		事前配布資料の読み込み、各授業内に示したキーワード、ポイントのまとめ		
テキスト		指定なし		
参考書・参考資料等		授業内で適宜紹介する		
学生に対する評価		授業リフレクション 50% レポート課題 50% （初回に詳細を説明する）		

授業 科目名	保健医療福祉論Ⅱ(応用) (Social welfare and health policy)	履修年次 2年	1単位 15時間	担当教員名: 田口円裕 [歯科医師] (歯科医療政策学・教授) (非常勤講師室)
		必修: 看, 栄, 歯, 作 選択: 理	コード: BHB205	
実務経験のある教員による授業科目				
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識, Ⅳ 健康づくりの実践, Ⅴ 健康づくりの環境の整備・改善				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 わが国における保健・医療・福祉の法体系と理念および諸施策・制度の基礎知識や基礎理論について学び、保健医療従事者として制度の意義と活用方法を理解する。Ⅱにおいては、特に保健・医療に関する施策の仕組み・制度に焦点をあてて学習する。				
〔授業の概要〕 公衆衛生政策の理念および保健医療福祉行政に関連する制度について具体的に学ぶ。医療に関する施策の仕組み・制度については、医療提供体制や医療安全等について具体的に学ぶ。				
キーワード: 保健医療福祉行政、地域保健、医療提供体制、医療保障、医療安全				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	10/7	公衆衛生政策の理念と背景	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生とは ・プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション ・わが国の戦後の公衆衛生政策の変遷 	
第2回	10/21	保健医療福祉における行政の理念と仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生行政の仕組み ・地域保健の体系と関係機関の機能・役割(地域保健法、健康増進法、保健所、市町村保健センターの役割と機能、地域・職域連携の推進) 	
第3回	10/28	公衆衛生行政の分野の制度と概要	<ul style="list-style-type: none"> ・食品安全・衛生行政、生活衛生 ・医事薬事行政・環境保健行政 	
第4回	11/11	医療制度の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・医療保険制度、国民医療費、公費医療 	
第5回	11/18	医療提供体制 1	<ul style="list-style-type: none"> ・医療提供施設と従事者 ・医療計画および地域医療構想 	
第6回	11/25	医療提供体制 2	<ul style="list-style-type: none"> ・5 疾病 5 事業 ・在宅医療 ・医療と介護の連携 	
第7回	12/2	医療費の構造 医療安全	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費の構造 ・医療安全 	
第8回	12/9	まとめ	まとめ	
履修条件	特になし			
予習・復習	授業でレジュメを配布するので、予習・復習に活用すること			
テキスト	国民衛生の動向 厚生労働統計協会			
参考書・参考資料等	授業時に適宜紹介する。プリントを適宜配布する			
学生に対する評価	試験(90%)と普段の学習態度(10%)による			

授業 科目名	食育論 I (基礎) Food education I (Basic)	履修年次: 選択: 看 3 年、看編 3・ 4 年、栄 3 年、歯 3 年、 理 3 年、作 3 年	単位数: 1 単位 15 時間 コード: BHB106	担当教員名: 鈴木 亜夕帆 (A 棟 214 研究室)
〔DP〕 IV 健康づくりの実践、VI 多職種との協働、VII 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 食育とは何かを理解すること、医療専門職が食育を考える意義を理解することを目的とする。 テーマ: ①食習慣の現状。②食と健康。③食の背景。④日本の食べ物(食品成分表) ⑤日本人の食べる基準(食事摂取基準)				
〔授業の概要〕 食育は、管理栄養士や栄養教諭だけでなく、看護師、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士など医療関係者への期待も大きいのはどうしてか。食材や栄養の知識を伝えることだけが「食育」なのか。食育基本法等の施策、食の背景、食事と健康とのかかわり、食品成分表、食事摂取基準から理解し、専門職として、多職種と連携したライフステージ・ライフスタイルに応じた望ましい食習慣を理解し実践する食育を企画できる基礎を学習する。毎回、実践的食育(箸の持ち方、食事に関する各国のマナー等)の演習を行う。 キーワード: 食育、食文化、食育計画、健康日本 21、食品成分表、食事摂取基準				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第 1 回	4/12	ガイダンス、食育とは	ガイダンス 食育と食育推進計画	
第 2 回	4/19	食習慣の現状	日本、千葉県の現状 実践的食育: お箸の持ち方	
第 3 回	4/26	食と健康のかかわり	健康日本 21、健康ちば 21 実践的食育: お箸のマナー、割りばしの割り方	
第 4 回	5/10	食の文化・社会背景	世界、日本、地域の食文化 実践的食育: 茶碗の持ち方、お椀の蓋の開け方	
第 5 回	5/17	食品と食育	食品の理解と食育への応用。【特別講師】	
第 6 回	5/24	日本人の食べ物	食べ物の物差し「食品成分表」の活用 実践的食育: せんべいとあられ、原料米の相違を理解する	
第 7 回	5/31	食べる基準	食事摂取基準の概要 実践的食育: 食事の場面で気を付けたいこと	
第 8 回	6/7	まとめ	専門職で食育を展開する方法を考えよう	
履修条件	特になし			
予習・復習	予習: 前週に指示。復習: 資料・ノート等の見直し。			
テキスト	研究室で作成したプリント。			
参考書・参考資料等	最新の「食育白書」農林水産省。「日本食品成分表 2022 八訂」医歯薬出版。「日本人の食事摂取基準 2020 年版」第一出版編集部、第一出版。「グー・パー食生活実践ガイドブック概要版」千葉県。			
学生に対する評価	課題 (50%)、学習態度 (50%) により総合的に評価。			

授業 科目名	食育論Ⅱ（応用） Food education Ⅱ （Advanced）	履修年次： 選択：看3年、看編3・ 4年、栄3年、歯3年、 理3年、作3年	単位数：1単位 15時間 コード：BHB205	担当教員名： 鈴木 亜夕帆 （A棟 214研究室）
〔DP〕Ⅳ 健康づくりの実践、Ⅴ 健康づくりの環境の整備・改善、Ⅵ 多職種との協働				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 食育とは何かを理解した上で、専門性を生かした基本的な分かりやすい食育ができるようになることを目標とする。 テーマ：①農水産物と食育。②栄養表示・おいしさ。③臨床と食育。④望ましい食事。⑤食育の実際。				
〔授業の概要〕 食育論Ⅰの内容を基礎として、食品分野、臨床分野からの食育、食の安全性、望ましい食事と食習慣、食事選択の方法など食に関する実践的な知識を学習し、専門性を生かしたライフステージ、ライフスタイルに応じた望ましい食習慣を理解し実践する食育教材を考えることができるようにする。実感的食育の演習を通して食育の実際を体感する。				
キーワード：食育、食文化、教材、食育計画、健康日本21、食品成分表、食事摂取基準				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	
第1回	6/7	ガイダンス	ガイダンス	
第2回	6/14	食育と教材	食育教材を作るための留意点、食育教材の分析 実感的食育：食育的な自己紹介をしてみよう	
第3回	6/21	世界と食育	国際的な視点で食育について考える【特別講師】	
第4回	6/28	望ましい食事	「グー・パー食生活」で望ましい食事を考えてみよう 実感的食育：教材作成に役立つ資料	
第5回	7/5	医療者と食育	医療者から医療と食育の関連を学ぶ【特別講師】	
第6回	7/12	食品の安全・安心・おいしさ	栄養表示などを題材に食の安心・安全を考える	
第7回	7/19	食育の実際	食育の教材を体験してみよう 実感的食育：食育の方法について意見交換しよう	
第8回	7/26	教材発表・まとめ	教材発表会	
履修条件	特になし ※食育論Ⅰ（基礎）の内容を踏まえた内容となります。			
予習・復習	予習：食育論Ⅰの内容の復習及び前週に提示。復習：資料、ノート等の見直し。			
テキスト	研究室で作成したプリント。			
参考書・参考資料等	最新の「食育白書」農林水産省。 「日本食品成分表 2023 八訂」医歯薬出版。「日本人の食事摂取基準 2020 年版」第一出版編集部、第一出版。「グー・パー食生活実践ガイドブック概要版」千葉県。			
学生に対する評価	課題（50%）、学習態度（50%）により総合的に評価。			

授業 科目名	授業科目名： 健康と運動 (Health and Physical Fitness)	履修年次	1 単位:15 時間	担当教員名： 島田美恵子 [健康運動指導士] (研究室：A 棟 412)
		1. 2. 3. 4 選択科目	コード：BHB107	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕 III 実践に必要な知識 IV 健康づくりの実践 VII 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 保健医療に携わるものとして、高齢者・生活習慣病患者などあらゆる対象者における運動と健康との関係を理解する。健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023 など、運動処方 の理論を理解する。また、文化としてのスポーツを知る。到達目標は以下の通りである。 ① 運動処方の基礎原理を理解し、健康・体力を評価することができる。 ② 健康のために効果的な運動と日常生活活動を知り、健康増進を実践できる。 文化としてのスポーツを知り、観て実践して、スポーツを楽しむことができる				
〔授業の概要〕 講義形式にて、健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023 など運動施策を理解し、運動処方を理論的に学習する。また、身体計測や体力測定・問診などの健康・体力・身体活動量を評価する方法を学び、科学的根拠に基づいたアセスメントおよびプランニングを行う。日常生活において適切な身体活動量を確保する実践力を養う。実践および観戦によるスポーツの楽しみ方を知る。 キーワード：健康・体力づくり 運動処方 トレーニング理論				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	10/4	ガイダンス	履修の準備、受講に関する注意事項 健康に関連する体力 運動の効用 など	
第2回	10/11	健康に関連する体力	安静時と運動時の生理的変化を理解する	
第3回	10/18	運動処方	運動処方の原則と運動施策の根拠を理解する	
第4回	10/25	トレーニング	最新のトレーニング理論とその変遷を知る	
第5回	11/1	年代別運動処方	加齢に伴う体力の変化と、各年代別に必要な運動を理解する	
第6回	11/8	疾病と運動処方	疾病・認知症への運動効果など、最近の知見を知る	
第7回	11/15	スポーツの文化	文化としてのスポーツとその楽しみ方を知る	
第8回	11/22	まとめ	まとめ (0.5 時間)	
履修条件	健康スポーツ科学 あるいは 生涯身体運動科学とあわせて履修が望ましい			
予習・復習	毎回の小レポートを提出して復習とする。授業最後に次回のトピックを予告する。興味があるものは、各自で予め調べておく。			
テキスト	なし			
参考書・参考資料等	必要に応じて資料を配布する			
学生に対する評価	試験 (40%)、日ごろの学習態度 (60%) により総合的に評価する。			

授業 科目名	家族社会学 (Family Sociology)	選択：看、歯、理、作1年	1単位15時間	担当教員名： 高尾 公矢 (非常勤講師室)
		栄1.4年	コード：BHB108	
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識、Ⅴ 他職種との連携、Ⅶ 生涯にわたる探求心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 本授業では学生が家族の定義、構造と機能、変化を理解しながらわが国の家族の現在の特徴を理解することを目標とし、1) 学生が家族の定義と変化を理解することができる。2) 学生が家族の構造と機能を理解することができる。3) 学生が諸外国の家族と比較しながらわが国の家族の変化と現在の課題を理解することができる、などの能力の取得を目指して講義を進める。				
〔授業の概要〕 本講義では講義形式により、家族と社会との関連、家族の変化についての一般的な考え方を説明する。ついで、個人がその生涯を通じて、家族集団の中で経験する過程の各段階(結婚、夫婦、親子、高齢者など)について、家族社会的理解を深める。基礎的な概念や理論を理解しつつ、学生自身が資料・文献を通してわが国の家族の特質を諸外国の家族との比較を通して理解できるように指導する。				
キーワード：家族、現代家族、家族機能、ライフコース、ジェンダー				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	5/30	社会変動と家族	家族とは何か、家族の機能の変化を理解する	
第2回	6/6	家族とライフコースの視点	家族とライフコースの新たな視点を理解する	
第3回	6/13	家族と生殖をめぐる技術	家族と生殖をめぐる技術を理解する	
第4回	6/20	家族の変容と社会保障	家族の変化と社会保障を理解する	
第5回	6/27	未婚・少子化とこども	未婚と少子化の実態と議論を理解する	
第6回	7/4	オールタナティブ・ファミリー	パートナー関係の多様性・親子関係を理解する	
第7回	7/11	がん患者家族とグリーフ	グリーフケア・グリーフワークなどを理解する	
第8回	7/18	まとめ—日本の家族の特質	諸外国の家族との比較を基に日本の家族の特質を理解する	
履修条件	特になし			
予習・復習	予習としてテキストを熟読のこと。復習にはノートの見直しを推奨。			
テキスト	増子 勝義 (著、編集) 『21世紀の家族づくり』第2版、学文社、2023。			
参考書・参考資料等	指定しない。授業の中で適宜紹介する。			
学生に対する評価	レポート60%、提出物40%により総合的に評価する。			

授業 科目名	医療経営管理論 (Healthcare Management)	履修年次：	1 単位 15 時間	担当教員名： 科目責任者：住谷剛博 佐藤貴一郎 (非常勤講師室)
		選択：看3年・看編3年 栄4年	コード：BHB207	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕 III 実践に必要な知識, I 倫理観とプロフェッショナルリズム, II コミュニケーション能力				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 本授業では、これからの医療を取り巻く環境変化に対し、物事の本質を見極め、幅広い価値観と実践力向上が益々求められてきます。そこで、専門職としての使命や役割を理解し、職務遂行するための経営管理の基礎知識とスキルを修得し、現場の様々な課題に直面した際に自ら考え・行動できる資質の向上を目的としています。				
〔授業の概要〕 本授業は講義形式により、医療人や施設が直面する制度変更や地域ニーズ、働き方改革など経営環境の変化に組織的に対応するための経営管理のありかたについて学習し考察する機会を提供します。講義では医療サービスと経営管理の本質を理解し、医療の質と経営の質を向上するために、従来の「病院管理」を超えて「組織論」、「経営戦略」などの視点を重視した経営管理のありかたと管理手法について実務経験にもとづき、実践的なマネジメント能力を高める内容とします。				
キーワード：医療の質・サービス、経営の質、マネジメント、組織論、経営戦略、問題解決				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	担当
第1回	5/29	ガイダンス (45分)	医療経営管理とは (受講に関する注意と成績評価)	佐藤貴一郎
第2回	6/5	医療サービスと質管理	医療サービスに必要な知見・特性と患者視点の質管理	住谷 剛博
第3回	6/12	経営の質と健全経営①	医療施設の資金の管理と会計、原価計算と資金調達	佐藤貴一郎
第4回	6/19	経営の質と健全経営②	医療組織における問題解決と人材・組織マネジメント	住谷 剛博
第5回	6/26	経営の質と健全経営③	診療報酬管理とIT化による医療提供体制	住谷 剛博
第6回	7/3	医療組織管理	医療組織の特徴と組織類型、組織変革マネジメント	佐藤貴一郎
第7回	7/10	医療経営戦略と策定	経営戦略の基礎と医療経営戦略の策定手法	佐藤貴一郎
第8回	7/17	医療経営戦略と実践方法	地域医療連携の特性を活かした経営戦略と実行	住谷 剛博
履修条件	特にありませんので、専門領域を超えての履修を歓迎します			
予習・復習	予習として新聞等で医療の動向チェック、復習では配布資料の見直しを推奨			
テキスト	指定しない (講義資料を配布します)			
参考書・参考資料等	授業のなかで適宜紹介します			
学生に対する評価	学習態度 (60%) と課題レポート (40%) により総合的に評価します			

授業 科目名	医療経営管理論 (Healthcare Management)	履修年次：	1 単位 15 時間	担当教員名： 科目責任者：住谷剛博 佐藤貴一郎 (非常勤講師室)
		選択：理・作4年	コード：BHB207	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕 III 実践に必要な知識, I 倫理観とプロフェッショナリズム, II コミュニケーション能力				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 本授業では、これからの医療を取り巻く環境変化に対し、物事の本質を見極め、幅広い価値観と実践力向上が益々求められてきます。そこで、専門職としての使命や役割を理解し、職務遂行するための経営管理の基礎知識とスキルを修得し、現場の様々な課題に直面した際に自ら考え・行動できる資質の向上を目的としています。				
〔授業の概要〕 本授業は講義形式により、医療人や施設が直面する制度変更や地域ニーズ、働き方改革など経営環境の変化に組織的に対応するための経営管理のありかたについて学習し考察する機会を提供します。講義では医療サービスと経営管理の本質を理解し、医療の質と経営の質を向上するために、従来の「病院管理」を超えて「組織論」、「経営戦略」などの視点を重視した経営管理のありかたと管理手法について実務経験にもとづき、実践的なマネジメント能力を高める内容とします。				
キーワード：医療の質・サービス、経営の質、マネジメント、組織論、経営戦略、問題解決				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	担当
第1回	11/25	ガイダンス (45分)	医療経営管理とは (受講に関する注意と成績評価)	佐藤貴一郎
第2回	11/25	医療サービスと質管理	医療サービスに必要な知見・特性と患者視点の質管理	住谷 剛博
第3回	11/27	経営の質と健全経営①	医療施設の資金の管理と会計、原価計算と資金調達	佐藤貴一郎
第4回	12/2	経営の質と健全経営②	医療組織における問題解決と人材・組織マネジメント	住谷 剛博
第5回	12/2	経営の質と健全経営③	診療報酬管理とIT化による医療提供体制	住谷 剛博
第6回	12/4	医療組織管理	医療組織の特徴と組織類型、組織変革マネジメント	佐藤貴一郎
第7回	12/4	医療経営戦略と策定	経営戦略の基礎と医療経営戦略の策定手法	佐藤貴一郎
第8回	12/9	医療経営戦略と実践方法	地域医療連携の特性を活かした経営戦略と実行	住谷 剛博
履修条件	特にありませんので、専門領域を超えての履修を歓迎します			
予習・復習	予習として新聞等で医療の動向チェック、復習では配布資料の見直しを推奨			
テキスト	指定しない (講義資料を配布します)			
参考書・参考資料等	授業のなかで適宜紹介します			
学生に対する評価	学習態度 (60%) と課題レポート (40%) により総合的に評価します			

授業 科目名	リスクマネジメント論 (Medical Risk Management)	必修：看2・編入3 理2年 選択：栄2・4年 歯2年、作2年 実務経験のある教員による授業科目	1単位 15時間 コード：BHB208	担当：西村宣子【看護師】 (図書館棟8号室) 山本達也【医師】・春日広美【看護 師】・鈴木祐子【歯科衛生士】・ 高橋静子【看護師】
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識 I 倫理観とプロフェッショナリズム				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
1. 人間の特性を理解し、事故発生のメカニズムと防止策の基本的な考え方を説明できる。 2. 医療事故に伴う法的責任について知り、リスクマネジメントを学ぶ意義を説明できる。 3. 病院組織、在宅ケア、神経疾患を持つ患者、口腔衛生管理における具体的な事故防止対策について理解できる。 4. 危険予知、事故分析方法の演習を通して、リスクアセスメントに対する理解を深めることができる。				
〔授業の概要〕 患者(対象者)中心の安全・安心な医療を提供するために、医療安全の必要性・重要性を認識し、安全な医療が遂行出来る体制づくりや環境を整える活動が必要である。本授業は、将来、保健医療福祉の専門職者となる学生が主体的に対象者と自分の双方の『安全』をまもることができるよう、保健医療従事者の法的・倫理的責任、国の医療安全策の経緯および個人・チーム・組織としてのリスクマネジメントの具体的方法について理解できることを目的とする。また、病院組織、在宅看護、神経疾患をもつ患者、口腔衛生管理における医療安全対策について、事例を基に背景に存在する多様な要因から、組織的取り組みの重要性について学ぶ。さらに、危険予知、事故分析方法の演習を通して、リスクアセスメントに対する理解を深めていく。 医師、看護師、歯科衛生士、GRMの実務経験に基づきオムニバス形式で講義を行う。				
〔授業計画〕 キーワード：リスクマネジメント、医療安全、ヒューマンエラー、インシデント、危険予知訓練、医療の質				
回数		テーマ	内 容	担当
第1回 0.5	12/9・I	医療安全とリスクマネジメントの概念	ガイダンス リスクマネジメントとは ヒューマンエラーのメカニズムと人間の特性	西村 宣子
第2回	12/16・I	医療のリスクマネジメントのプロセス	リスクマネジメントの有用性と具体的なリスク分析の方法	高橋 静子
第3回	12/23・I	医療機関におけるリスクマネジメント1	病院組織における医療安全のしくみ 院内安全対策、感染防止対策 療養上の世話における事故防止	西村 宣子
第4回	1/6・I	起こりやすいアクシデントとその対策2	神経疾患における転倒予防とその対策 歯科診療・誤嚥に関するアクシデントと対策	山本 達也 鈴木 祐子
第5回	1/20・I	危険予知訓練(演習)	危険予知訓練(KYT) リスク低減の考え方	高橋 静子
第6回	1/27・I	起こりやすいアクシデントとその対策1	在宅ケアにおける安全対策	春日 広美
第7回	1/29・ I)	医療機関におけるリスクマネジメント2	医療機関におけるリスクマネジメントの実際	西村 宣子 (特別講師)
第8回	2/3・I	リスクマネジメントと医療の質	医療安全と医療の質の関係 医療安全と法的・倫理的問題	西村 宣子
履修条件	特になし			
予習・復習	予習：提示したテキストを読んでくる 復習：授業資料と授業範囲のテキストを見直す			
テキスト	山内豊明ほか：看護学テキスト NiCE「医療安全」多職種でつくる患者安全をめざして 南江堂			
参考書・参考資料等	松下由美子ほか：ナースング・グラフィカ EX 医療安全、メディカ出版 リハビリテーション医療における安全管理・推進のためのガイドライン 診断と治療者			
学生に対する評価	学習態度(20%)・課題(10%)・筆記試験(70%)により総合的に評価する。			